

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書（進路支援部）

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号

105

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け自ら学び考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
--------	---

評価する領域・分野	進路支援
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童生徒の発達段階に応じた進路学習を行う必要がある。 ② 生徒・保護者が不安にならないように関係機関と連携し、組織的に進路支援を行うことが必要である。 ③ 個のニーズに合わせて進路情報の提供を行うことが必要である。 ④ 卒業後、社会生活にスムーズに移行できるように進路相談・進路支援会議を行う必要がある。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童生徒の障がいをもふまえ、進路学習計画を立て、進路支援に努める。 ② 家庭と学校、各関係機関と連携し、組織的な進路支援体制による進路実現を行う。 ③ 進路情報を収集し、個のニーズに合わせて提供する。 ④ 進路相談や進路支援会議を計画的に行う。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ① 全職員が共通理解のもと全校体制で進路学習を進める。 ② 主に担任、学年職員、進路支援部が協力し、個々の進路実現に努める。 ③ 進路支援部が中心となって情報収集し、保護者、職員への情報の提供に努める。 ④ 進路支援部が中心となってニーズに応じた進路相談や進路支援会議を行う。
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校進路学習計画を作成し、全職員共通理解のもと進路学習を進める。 ② 生徒・保護者の希望をもとに職員会（学年会）で、適性を見極めて進路支援を進め、個々の進路実現を目指す。 ③ 障害福祉サービスについて生徒・保護者の理解を深める。 ④ 卒業後の生活に支援の必要な生徒については、関係機関と連携し計画的に進路支援会議を行うように努める。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ① 進路学習計画の内容が年間指導計画等にも反映されているか。 ② 組織的に個々の生徒の進路実現を目指すことができたか。 ③ 今年度の学校アンケートの評価があがったか。 ④ 進路支援会議の年間計画を作成し、計画的に実施できたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ① 年度初めの職員会議で学校進路学習計画を提案し、教育活動全体を通じて進路学習や研修を実施した。 ② 就業体験先・進路先については、生徒・保護者の希望をもとに職員会（学年会）で適性を見極めて個々に応じた進路支援を行った。 ③ 進路だよりを年間6回発行し、必要な進路情報を周知した。 全保護者が障害福祉サービスについて理解する機会として「事業所を知る会」を実施した。 ④ 関係機関と連携し、主に高等部2，3年生を対象に進路支援会議を計画的に実施した。

評価の視点	評価
① 児童生徒が学習計画に基づき、充実した進路学習・研修を進める支援ができたか。	A (B) C D
② 組織的に進路支援を行うことができたか。	A (B) C D
③ 個のニーズに合わせた進路情報の提供ができたか。	A (B) C D
④ 関係機関と連携し、進路支援会議を計画的に実施することができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ① 児童生徒の発達段階に合わせた進路学習を学校全体として進めることができた。 ② 適正就労を目指し、組織的に進路支援を進めることができた。 ③ 全保護者が障害福祉サービスについて学ぶ機会を作ることができた。 ④ 今後も関係機関と連携し、計画的な支援会議の実施に努めたい。 	A (B) C D

来年度に向けての 改善方策案	・進路にかかわる業務内容を精選し、効率よく仕事を行う。
-------------------	-----------------------------

学校関係者評価 (平成31年2月7日実施)

意見・要望・評価等 ・支援をつなぐ“卒業後の進路”の部分においても、支援の引継ぎの充実を期待します。
